

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.193

2021. 11. 1
発行：平和憲法・9条をまもる
岩手の会 実務者会議
連絡先 県生協連・県消団連
TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227

「9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」（10月末現在）
岩手の署名数 2万3千5百筆

「戦後76年戦争・平和を語る夏の集い」を開催

～ 一関九条の会 ～

20人が参加。今回は、萩荘中学校で社会科の講師を務める村上好永さんと、元教師の槻山勝宏さんをお招きし、戦争を二度と繰り返さないために、平和の尊さを次代を担う子どもたちに伝える大切さを説いていただきました。

村上さんは、これまで取り組んできた戦争と平和を伝える授業の内容を紹介しました。ユダヤ人強制収容所の様子を伝える記録映像など視聴覚教材も使いながら、「戦争は絶対悪」「人権の尊重が戦争を防ぐ」という日本の憲法の前文や平和主義を大事にした視点を基本に授業を行っている」と説明。授業の最後には生徒たちに感想文を書かせ、戦争や平和について考え合っている様子も語りました。

槻山さんは、南小学校で戦争や当時の兵士の実態などについて語り聞かせる活動を行ってきました。この日は、遺族会の活動を報告しました。槻山さんの父親は、激戦地だったフィリピンのレイテで戦死。遺族会で現地を訪問した際、それぞれの父親あての手紙を読んだのですが、1行読むたびに泣いてしまった方のエピソードを紹介し、遺族の悲しみが今でも消えていない様子を語りました。

参加者からは、「戦時中、一関や平泉でもあった空襲や釜石の艦砲射撃など、自分たちが住む岩手でも戦争があったことを伝えていくべき」などの意見が聞かれました。

（斉藤三郎）



《お知らせ》 「第4回岩手県平和大会」開催 **参加無料**

12月4日（土）13時～（予定） ふれあいランド岩手（盛岡市三本柳8地割1-3）

内 容：講演と県内の団体、個人の平和の取り組み発表

問合せ先：岩手県平和委員会事務局 メールアドレス：iwate@j-peace.org

《平和憲法・9条をまもる岩手の会 11月の街宣署名行動》

11月9日(火)12:15～12:45 盛岡市大通・野村証券前

人との距離を保って宣伝を中心に行いながら、「改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけます。
ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

いのち・くらしが最優先！

「10・8盛岡スタンディングデー」に50人が参加

緊急署名岩手の会主催で、10月8日に盛岡医療生協川久保病院前や盛岡南イオン前の交差点付近で、9条の会や、労働組合、生協関係など十数団体50人が参加して、スタンディングを実施しました。

「9条改憲反対」「憲法変えるな！政治を変えよう」「軍事費よりも福祉が優先」などの横断幕やプラカードを持ちながら、憲法をいかして、戦争に巻き込まれない、社会保障を充実して誰もが安心して暮らせる社会、国民の命と生活を守る政治を求めて、ドライバーや歩行者にアピールしました。



コラム — 「私は、第100代内閣総理大臣を拝命... (!?)」とは... —

10月8日、臨時国会の衆参両院の本会議場の演壇から岸田首相は所信表明演説で、「…このたび、私は、第100代内閣総理大臣を拝命いたしました」と表明しました。これを聞いてコラム子は呆れて、その口が閉まりませんでした。

戦後の内閣総理大臣は、日本国憲法下で「菅首相は第34代」だから「岸田首相は第35代」であることは、前回のコラムで縷々説明したところであります。

その余韻も冷めやらぬ間に岸田首相が、「私は、第100代内閣総理大臣を拝命」と言い放ったことは、日本国憲法を「解釈改憲論」で「日本国憲法無効論」の立場に立ち、日本国憲法を改悪しことになる旨を指摘しなければなりません。

日本国国民にとり今必要なことは、「岸田首相、あなたは『明治時代・大日本帝国憲法』下からの『第100代』ではなく、『日本国憲法』下で「第35代内閣総理大臣」である」と声を大にして、繰り返して指摘し続けなければならないことであります。

岸田首相に負ける訳にはいかない「心意気」で、あらゆる場面で声をあげることだとコラム子は考えております。「九条を守る」運動をしている皆さん、如何でしょうか？ (T)